

# 敷設作業車で特許

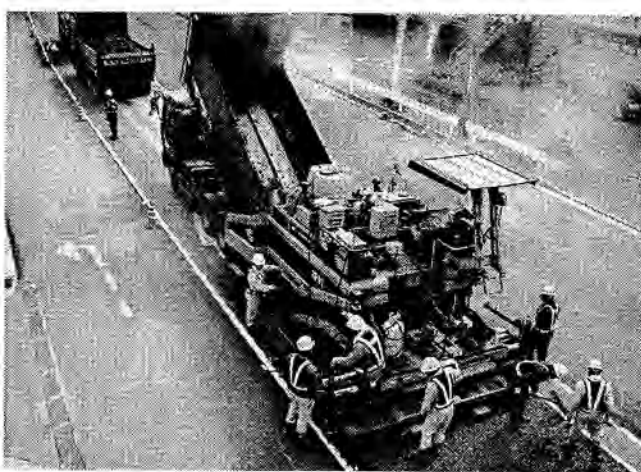
## 東亜道路工業 乳剤散布直後に分解剤

東亜道路工業は、「遮水型排水性舗装（POSMAC）」の施工に用いる舗装敷設作業車について、特許を取得した。アスファルト乳剤散布装置が付いたアスファルトフイニッシャーを改良した

もので、独自開発の分解剤を散布する装置を備えることにより、同舗装で期待される性能を確実に確保できるようにしている。同社は今回の特許取得を契機に、09年度末で累計100万平方メートルを突破したPOSMACのさらなる普及を目指している。POSMACは、排水性舗装の敷設と同時に、基層以下への雨水浸透を防ぐ遮水機能を設ける技術。これにより、雨水浸透で懸念される急速な脆弱（せいじゃく）化によって舗装が破壊に至るような事態を回避する。従

来、不透水性の基層を含めた2層で施工していたものを、遮水機能を持つ1層で排水性舗装を構築できるよつにすること、約40%のコスト低減を可能にした。専用の舗装敷設作業車は、アスファルト乳剤を1平方メートルあたり1・2リットルと多量に均一散布した直後に、分解剤を噴霧すること

ことで効率的な乳剤の分解を促進して遮水層をつくり、それと同時に排水性舗装に用いるポラスアスファルト混合物を敷きならすことができる。開発にあたっては、乳剤散布前の路面に分解剤が接触しないようノズルの方向や角度を工夫した。同社を中心に組織する「遮水型排水性舗装施工研究会」に参加する施工会社6社は現在、同作業車を国内に計10台保有している。今回特許を取得したこと、施工の品質を保証する機械を提供できることで、同種工法との差別化を図りたいという。



専用機械を使ったPOSMACの施工

（伊藤春彦技術部長）  
しており、02年度から09年度末までに累計100万平方メートルを突破した施工実績にさらに弾みを付け、本年度も50万平方メートル以上を目標に営業活動を展開していく。

POSMACは当初、排水性舗装が普及した高速道路を中心に実績を伸ばしてきたが、ここ数年は、国道や地方道にも広がりを見せ始めている。導入路線での追跡調査でも、耐久性を向上する技術であることが確認されており、各道路管理者の認知度も高まっているという。

# 施工機械でも特許取得

## 東亜道路工業 工法普及へ弾み

東亜道路工業は遮水型排水性舗装（POS MAC）で使

ろ舗装敷設作業車（アスファルトフィニッシャー）で特許

を取得した。材料の特許は取得済みだったが、施工機械でも取得することによって、その性能を確実に確保する。遮水型排水性舗装工法研究会の加盟各社とともに、工法の普及拡大につなげる。

### 特許を取得した作業車

アスファルトフィニッシャー

の乳剤散布装置の後方に分解剤散布装置の装備、分解剤を霧状に散布し、効率的に乳剤を分解、分解剤散布ノズルの方向・角度などを工夫して特許権を取得した。特許技術を使うことで通常のアスファルト舗装と同様の編成で効率的に施工でき、舗設後の降雨などに對しても安心して施工できる。

POS MACに對応したアスファルトフィニッシャーは、東亜道路工業の保有分10台を所有している。作業車に對する特許は3年前に申請した。

POS MACは乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーを使い、高濃度改質アスファルト乳剤を多量に均一散布して即時分解させると同時に、ポーラスアスファルト混合物を敷きならし、締め固めて構築する。従来の排水機能に加えて、ポーラスアスファルト混合物直下への遮水機能を持たせることで、コスト低減と耐久性向上を同時に実現する。

高速道路や国道に加えて、都道府県道や市道にも対象が広がり、研究会としての累計施工実績は100万平方メートル突破した。

2010年度は研究会として年間50万平方メートルを目指している。